

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

特開平 10-234793

(10) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-234793

(43) 公開日 平成10年(1998)9月8日

(51) Int. Cl.⁶A 61 G 7/10
B 66 F 9/08

特許庁

F I

A 61 G 7/10
B 66 F 9/08

A

審査請求 有 請求項の数 6 OL (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-40457

(22) 出願日 平成9年(1997)2月25日

(71) 出願人 587026319

堀田 孝夫
新潟県長岡市中島6丁目8番6号

(72) 発明者 堀田 孝夫

新潟県長岡市中島5丁目8番6号

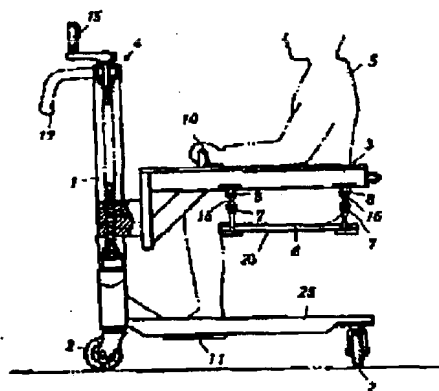
(74) 代理人 弁理士 宮井 雄敏 (外2名)

(54) [発明の名称] 移動式介護用リフト

(57) [要約]

【課題】 人の乗降りを楽にでき、安定状態での移動を可能にし、移動状態のままトイレでの用足しや食卓での食事などができる非常に実用性の高い移動式介護用リフトを提供すること。

【解決手段】 人が座った状態で移動及び昇降できる移動式介護用リフトであって、移動手段2を具備した基部25に基部1を設け、該基部1にリフトアーム3を昇降自在に設け、該リフトアーム3を人5を圍繞する形状に設定するとともに該リフトアーム3に人が座るための台座6を設けた移動式介護用リフト。



特開平10-234793

2

(2)

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 人が座った状態で移動及び昇降できる移動式介護用リフトであって、移動手段を具備した脚部に基脚を設け、該基脚にリフトアームを昇降自在に設け、該リフトアームを人を囲繞する形状に設定するとともに該リフトアームに人が座るための台座を設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【請求項2】 請求項1記載の移動式介護用リフトにおいて、台座とリフトアームとを着脱自在に連結した吊り下げ部材を設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【請求項3】 請求項1記載の移動式介護用リフトにおいて、少なくとも台座の四角に設けた吊り下げ部材を吊り下げ可能な吊り下げ部をリフトアームに設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【請求項4】 請求項1～3いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、台座に人の腰周辺を隠蔽可能な台座敷き9を設け、この台座敷き9を接合可能な接合部材を台座の表面に設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【請求項5】 請求項1～4いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、台座に用足しが可能な孔を設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【請求項6】 請求項1～5いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、リフトアームに被介護者の手摺りを設け、基脚若しくは脚部に被介護者の足掛けを設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、移動式介護用リフトに関するものである。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 従来、移動式介護用リフトとして種々のものが提案されているが、例えば、人を座らせるシートを昇降可能なリフトアームに吊り下げて成る移動式介護用リフトが提案されており、このリフトはシートに人を座らせ、該シートを吊り下げ紐によりリフトアームに取り付け、リフトアームで該人を座らせたシートを吊り上げて人を例えばベッドから車椅子に移動させるという使い方をしている。

【0003】 前記従来の移動式介護用リフトは、シートで人を囲繞して、シートを人の頭上のリフトアームに吊り下げているので、人を囲繞する安定な部材が人の周囲になく、人はシート内で安定な状態を確保することができない。

【0004】 また、従来の移動式介護用リフトは長さの長い吊り下げ紐で人を吊り上げて移動するため非常に不安定な状態で移動となり、左右、前後に揺れ動き危険性を伴う移動である。

【0005】 さらに、従来の移動式介護用リフトでは、

人を移動することはできても、移動状態でトイレでの用足しや食卓での食事などができる状態ではなかった。

【0006】 本発明は、前記従来の課題を解決するためになされたものであり、人の乗り降りを速にでき、安定状態で移動を可能にし、移動状態のままでもトイレでの用足しや食卓での食事などができる非常に実用性の高い、移動式介護用リフトを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 添付図面を参照して本発明の要旨を説明する。

【0008】 人が座った状態で移動及び昇降できる移動式介護用リフトであって、移動手段2を具備した脚部25に基脚1を設け、該基脚1にリフトアーム3を昇降自在に設け、該リフトアーム3を人を囲繞する形状に設定するとともに該リフトアーム3に人が座るための台座6を設けたことを特徴とする移動式介護用リフト。

【0009】 また、請求項1記載の移動式介護用リフトにおいて、台座6とリフトアーム3とを着脱自在に連結した吊り下げ部材7を設けたことを特徴とする移動式介護用リフトに係るものである。

【0010】 また、請求項1記載の移動式介護用リフトにおいて、少なくとも台座6の四角に設けた吊り下げ部材7を吊り下げ可能な吊り下げ部8をリフトアーム3に設けたことを特徴とする移動式介護用リフトに係るものである。

【0011】 また、請求項1～3いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、台座6に人の腰周辺を隠蔽可能な台座敷き9を設け、この台座敷き9を接合可能な接合部材22を台座6の表面に設けたことを特徴とする移動式介護用リフトに係るものである。

【0012】 また、請求項1～4いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、台座6に用足しが可能な孔13を設けたことを特徴とする移動式介護用リフトに係るものである。

【0013】 また、請求項1～5いずれか1項に記載の移動式介護用リフトにおいて、リフトアーム3に被介護者の手摺り10を設け、基脚1若しくは脚部25に被介護者の足掛け11を設けたことを特徴とする移動式介護用リフトに係るものである。

【0014】

【発明の作用及び効果】 移動手段2を具備した脚部25に基脚1を設け、該基脚1にリフトアーム3を昇降自在に設け、該リフトアーム3を人を囲繞する形状に設定するとともに該リフトアーム3に人が座るための台座6を設けたから、台座6に座った人5を安定した状態で移動させることができ、台座6に座ったままでもトイレの用足しや食卓での食事などができる非常に実用性の高いものとする事ができる。

【0015】 また、台座6とリフトアーム3とを着脱自在に連結した吊り下げ部材7を設けたから、人5を台座

特開平10-234793

(3)

8に座させた後、吊り下げ部材7で台座8とリフトアーム3とを容易に連結でき、リフトアーム3に台座6を容易に吊り下げることができ、人5の乗り降りが非常に速にできる。

【0018】また、台座6に人5の腰部周辺を隠蔽可能な台座敷き9を設け、この台座敷き9を接合可能な接合部材22を台座8の表面に設けたから、台座6に台座敷き9を確実に接合することができ、台座敷き9で人5の腰部周辺を隠蔽した状態で台座敷き9が台座6からズリ落ちたりすることなく確実に人5を移動することができ

る。

【0017】また、台座6に用足しが可能な孔13を設けたから、台座6に座ったままの状態で用足しができる。

【0018】また、リフトアーム3に被介護者用の手すり10を設け、基部1若しくは脚部25に被介護者用の足掛け11を設けたから、被介護者は両手で手すり10とつかまり両足を足掛け11に載置して安定した両足状態で移動することができ、非常に安全性の高いものとする事ができる。

【0019】

【発明の実施の形態】本発明の一実施例に係る移動式介護用リフトに関して以下図面に基づき説明する。

【0020】本実施例は、図1に図示したように、人5が座った状態で移動及び昇降できる移動式介護用リフトであって、基部1の下部に設けた脚部25の底面四角に移動手段2として車輪2を設け、該基部1の垂直部1に人5の腰回りを圍繞できるような略U型のリフトアーム3を連結し、該リフトアーム3を昇降できるようにリフトアーム3と基部1の垂直部1とを接合連結した昇降機構4を設け、昇降機構4の上端部に昇降ハンドル15を取り付けて、この昇降ハンドル15を回動することでリフトアーム3を昇降させることができ、例えば昇降ハンドル15を右に回動するとリフトアーム3が上昇し、左に回動するとリフトアーム3が下降するように構成する。

【0021】リフトアーム3には、略長方形の板材などで構成した人5が座るための台座6を取り付ける。

【0022】台座6は、図3に図示したように、台座6の四角に先端にループを形成した吊り下げ部材7を取り付け、台座6の中央部には人5が台座6に座った状態で用足しができるように孔13を設け、孔13の回りには人5の腰回りを隠蔽可能なタオル地などで形成した台座敷き9を接合可能なマジックテープなどの接合部材22を設ける。

【0023】台座敷き9は、図3に図示したように台座6の上面に台座敷き9を取り付けて使用する場合、台座6に座った人5がそのままの状態で用足しができるように台座敷き9の略中央部に孔14を設ける。

【0024】また、台座6及び台座敷き9に共に孔13、14を設けた場合には、食事や散歩などに出掛ける時は孔13、14はない方がよいので、台座6の下面にビニールシ

ートなどのシート23を取り付けられるように、台座6の下面若しくはシート23の台座6への取り付け面にマジックテープなどの接合部材24を設ける。

【0025】尚、台座6の下面にシート23を設けることで、被介護者をトイレに移動中、被介護者が万が一排便しても問題ない。

【0026】リフトアーム3には、台座6を吊り下げるための吊り下げ部8を設け、この吊り下げ部8に台座6の四角に設けた吊り下げ部材7を連結部材16を介して吊り下げる。

【0027】リフトアーム3に台座6を取り付ける位置は、人5が台座6に座った状態で、人5がリフトアーム3の内側に圍繞されるようにし、リフトアーム3の両側上面が人5の肩掛けとなるようにする。

【0028】リフトアーム3の基部1との連結部材には適宜手すり10を設け、基部1若しくは脚部25には適宜足掛け11を設ける。

【0029】台座6に座った人5を介護者が遠く移動できるように基部1には適宜走行ハンドル17を設ける。

【0030】本発明の実施例は、図2に図示したように、基本構成は前述の実施例と同等であるが、昇降機構4を油圧シリンダ方式に変更したものである。

【0031】油圧シリンダ方式の昇降機構4では、基部1の下部に設けたポンプペダル19を足で踏むとリフトアーム3を上昇させることができ、基部1の垂直部の略中央部に設けたリリースハンドル18を回動若しくは下方に押し込むとリフトアーム3を下降させることができる。

【0032】尚、昇降機構4は前述した二通りの方式以外にも適宜別の方式を採用することもできる。

【0033】また、移動式介護用リフトを確実に停止させたい場合には、車輪2の取り付け部に設けたストッパー20により、車輪2の回動を阻止させることで対応する。

【0034】次に、本実施例の移動式介護用リフトの実際の使用方法について、図4～図7に基づき以下説明する。

【0035】図4に図示したように、ベッド12に寝ている被介護者の人5の横に台座6を設置して台座6の上面に台座敷き9をセットし、本実施例の移動式介護用リフトをベッド12の横に移動してリフトアーム3をベッド12の上面より少し高い位置になるように昇降機構4により調整しておく。

【0036】尚、必要に応じて台座6の下面にはシート23を取り付ける。

【0037】次に、ベッド12に寝ている人5を台座6上に移動して台座6の上に人5の尻が乗るようにし、続いて、図5に図示したように人5が台座6の上に座った状態で両足をベッド12の床から下に降ろし、続いて移動式介護用リフトの脚部25をベッド12の下に移動し、リフトアーム3の両側で人5を両手に挟むようにリフトアーム3

特開平10-234793

6

(4)

をベッド12の上面に移動し、続いて台座6に設けた吊り下げ部材7を連結部材16を介してリフトアーム3に設けた吊り下げ部8に連結する。

【0038】次に、昇降機構4によりリフトアーム3を適宜上昇させて人5をベッド12の上面に吊り上げ、図6に図示したようにベッド12から人5を移動して人5の高さ位置を適宜な高さとなるように昇降機構4により調整し、所望の場所に入5を移動する。

【0039】次に例えば、用足してトイレに行く場合は、図7に図示したように、トイレの便器21の所定の場所に移動式介護用リフトを移動して高さ調整が必要ならば昇降機構4で調整の上、人5はそのままの状態で用足をすることが出来る。

【0040】本実施例は、以上のように、移動手段2を具備した脚部25に基部1を設け、該基部1にリフトアーム3を昇降自在に設け、該リフトアーム3を入5を圍繞する形状に設定するとともに該リフトアーム3に入5が座るための台座6を設けたから、台座6に座った人5を安定した状態で移動させることができ、台座6に座ったままトイレの用足しや食卓での食事などができる非常に実用性の高いものとすることが出来る。

【0041】また、台座6とリフトアーム3とを繋ぎ目状に連結した吊り下げ部材7を設けたから、人5を台座6に座らせた後、吊り下げ部材7で台座6とリフトアーム3とを容易に連結でき、リフトアーム3に台座6を容易に吊り下げることができ、人5の乗り降りが非常に楽にできる。

【0042】また、台座6に入5の腰背部周辺を保護可能な台座敷き9を設け、この台座敷き9を接合可能な接合部材22を台座6の表面に設けたから、台座6に台座敷き9を確実に接合することができ、台座敷き9で人5の腰背部周辺を保護した状態で台座敷き9が台座6からズリ落ちたりすることなく確実に人5を移動することが出来る。

【0043】また、台座6に用足しが可能な孔13を設けたから、台座6に座ったままの状態での用足しができる。*

*【0044】また、リフトアーム3に被介護者用の手すり10を設け、基部1若しくは脚部25に被介護者用の足掛け11を設けたから、被介護者は両手で手すり10につかまり両足を足掛け11に懸置して安定した高状態で移動することができ、非常に安全性の高いものとすることが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る移動式介護用リフトの使用状態を示す説明図である。

【図2】本発明の別実施例に係る移動式介護用リフトを示す斜視図である。

【図3】本発明の一実施例に係る移動式介護用リフトを用いる部材を示す斜視図である。

【図4】本実施例の使用方を説明するための説明図である。

【図5】本実施例の使用方を説明するための説明図である。

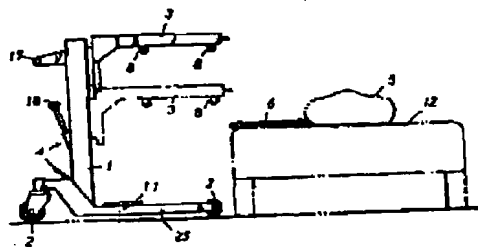
【図6】本実施例の使用方を説明するための説明図である。

【図7】本実施例の使用方を説明するための説明図である。

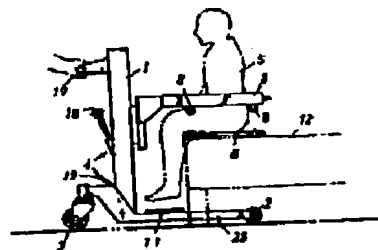
【符号の説明】

- 1 基部
- 2 移動手段
- 3 リフトアーム
- 5 人
- 6 台座
- 7 吊り下げ部材
- 8 吊り下げ部
- 9 台座敷き
- 10 手すり
- 11 足掛け
- 13 孔
- 22 接合部材
- 25 脚部

【図4】



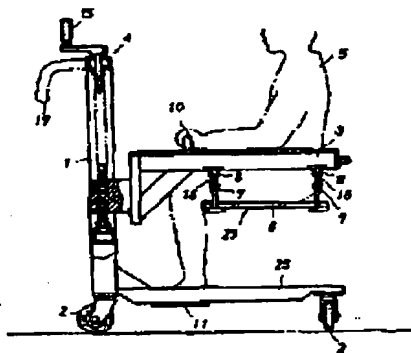
【図5】



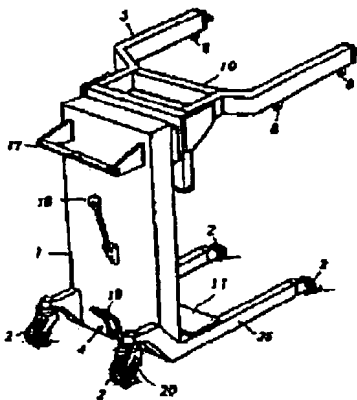
(5)

特開平10-234793

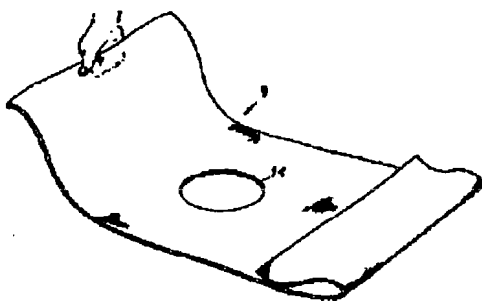
【図1】



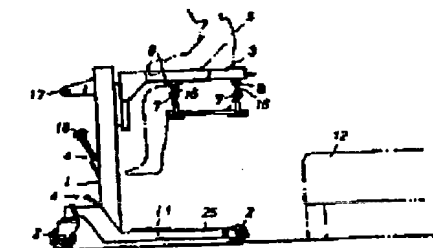
【図2】



【図3】



【図6】



【図7】

